

## 板橋区地球温暖化対策実行計画（区域施策編）2025 の進捗状況について

板橋区地球温暖化対策実行計画（区域施策編）2025（以下、「本計画」という。）における令和3年度の進捗状況を取りまとめたので報告する。

### 1 本計画について

#### （1）位置づけ

本計画は、「地球温暖化対策の推進に関する法律」第19条第2項で定める「地方公共団体実行計画」とともに、「気候変動適応法」第12条で定める「地域気候変動適応計画」を包含している。また、「板橋区環境基本計画2025」の基本目標を具体化していくための計画としても位置づけている。

#### （2）計画期間

本計画の期間は、令和3（2021）年度から令和7（2025）年度までの5年間としている。

#### （3）指標

本計画では、温室効果ガスの削減効果が認められる重点施策を中心に、削減目標からのバックキャストや他の計画に基づく事業を参考に18の指標（26項目）を設定している。数値による指標の設定が困難な施策についてはめざす方向性のみを示している。

### 2 令和3年度実績値に基づく進捗状況の点検・評価

令和3年度における指標の進捗状況について、点検・評価を行った。目標値に対する進捗度を「順調」、「漸進」、「停滞」で評価し、数値による指標の設定が困難な施策については、基準年値（平成26年度）または策定時の現状値（令和元年度実績）からの進捗を「進展」、「横ばい」、「後退」で評価した。

指標（26項目）の目標達成状況については、「順調」に推移しているものが8項目、数値は改善しているものの小幅にとどまった「漸進」が2項目、数値の改善が認められない「停滞」が4項目となった。また、数値による指標の設定が困難な施策については「進展」が3項目、「横ばい」が2項目、「後退」が1項目となった。脱炭素への関心が高まり、順調に推移した項目が多くあった一方で、新型コロナウイルス感染症の影響を受け停滞となる項目も少なくなかった。また、計画目標である温室効果ガス排出量を令和7（2025）年度までに平成25（2013）年度比で30%削減（約70万t-CO<sub>2</sub>削減）については、令和元（2019）年実績で約15%（約35万t-CO<sub>2</sub>）削減しており、「順調」に推移している。

表1 指標の目標達成状況

基本方針	数値指標				方向性指標			
	順調	漸進	停滞	その他※	進展	横ばい	後退	その他※
I. クリーンなエネルギーを賢く使おう	6	0	1	4	0	0	0	0
II. 地球に優しいスマートインフラを整備しよう	0	0	0	0	1	2	0	1
III. 環境と社会にも配慮したガバナンスを進めよう	0	0	2	0	0	0	0	0
IV. 3R とエシカル消費を進めよう	0	2	0	0	0	0	0	0
V. 地球環境を考え行動する人づくりを進めよう	1	0	1	0	1	0	1	0
VI. 気候危機に今から備えよう	1	0	0	1	1	0	0	0
計	8	2	4	5	3	2	1	1

※基準年値又は実績値のどちらかの数値が無く比較ができない項目や、数値の増減で良し悪しを評価することができない項目については、「その他」として集計した。

表2 令和3年度における指標の実績と進捗状況

指標名		基準年値 平成26年度 (環境基本計画)	現状値 令和元年度	めざす 方向性	目標値 令和7年度	実績値 令和3年度	(参考) 達成率 達成 度※17	進捗率	進捗度 ※18
<b>I-1 省エネルギー行動の促進</b>									
電力・ガスの使用量の削減	電力	—	233,298 万 kWh ※1	↘	210,625 万 kWh	225,931 万 kWh ※2	32.5% C+	32.5%	順調
	ガス	—	16,755 万 m <sup>3</sup> ※1	↘	12,082 万 m <sup>3</sup>	15,419 万 m <sup>3</sup> ※2	28.6% C+	28.6%	順調
いたばし環境アクションポイント事業参加者数	家庭部門	—	—	↗	1,000 者 ※3	277 者	27.7% C+	27.7%	—
	事業所部門	—	—	↗	40 者 ※3	8 者	20.0% C+	20.0%	—
<b>I-2 建築物等の省エネルギー化</b>									
大規模建築物※5の建設時における蓄電池・省エネ給湯設備・断熱窓導入率	蓄電池	—	—	↗	— ※4	6.3%	—	—	—
	省エネ給湯設備	—	37.5%	↗	50%	31.3%	62.6% C	0% 未満	停滞
	断熱窓等	—	62.5%	↗	70%	72.9%	104.1% AA	100% 以上	順調
街灯(全27,600基)・公園灯(全2,139基)のLED化数(率)	街灯	—	16,790 基 (60.8%)	↗	27,600 基 ※6 (100%)	22,191 基 (80.0%)	80.0% B	49.0%	順調
	公園灯	—	238 基 (11.1%)	↗	2,139 基 ※6 (100%)	759 基 (35.4%)	35.4% C+	27.3%	順調
<b>I-3 再生可能エネルギーの導入拡大</b>									
大規模建築物※5の建設時における太陽光発電設備等導入率		—	8.3%	↗	12.8%	12.5%	97.7% A	93.3%	順調
区有施設への再生可能エネルギー100%電力の導入拡大割合(高圧受電施設の使用電力) ※7		—	18.9% ※7	↗	64.3% ※7	18.9% ※9	—	—	—
<b>II-1 次世代自動車の推進</b>									
区役所で使用している自動車の低公害車率	低公害車率	74%	74.3%	↗	80.4%	72.2%	89.8% B	0% 未満	横ばい
	内、本庁舎庁有車への電気自動車導入率※7	—	0台 ※8	↗	9台 ※8	0台 ※9	—	—	—
<b>II-3 緑化の推進</b>									
生産緑地地区の指定面積、緑のカーテンに関する情報提供回数(SNS等)	生産緑地地区の指定面積	—	9.14ha ※10	↗	— ※4	9.07ha	—	—	横ばい
	緑のカーテンに関する情報提供回数(SNS等)	—	43件 ※10	↗	— ※4	51件	—	—	進展

基本方針1

基本方針2

指標名	基準年値 平成 26 年度 (環境基本計画)	現状値 令和元年度	めざす 方向性	目標値 令和 7 年度	実績値 令和 3 年度	(参考) 達成率 達成度 ※17	進捗率	進捗度 ※18	
<b>Ⅲ-1 環境経営の実践</b>									
省エネルギー診断の受診件数	—	23 件	↗	27 件	13 件	48.1% C	0% 未満	停滞	
<b>Ⅲ-2 環境産業振興の促進</b>									
板橋製品技術大賞応募数	—	24 件 ※10	↗	25 件	19 件	76% B	0% 未満	停滞	
<b>Ⅳ-1 ごみの減量</b>									
区民一人一日当たりの資源・ ごみ量	689 g ※11	640 g	↘	598 g ※12	645 g	48.4% C+	48.4%	漸進	
<b>Ⅳ-2 リサイクルの推進</b>									
リサイクル率	21.5% ※11	21.9%	↗	28% ※12	22.5%	80.4% B	15.4%	漸進	
<b>Ⅴ-1 環境教育の推進</b>									
環境学習施設等の 来館者数、子ども 動物園利用者数	環境学習施設の 来館者数 ※13	270,195 人	315,947 人	↗	— ※4	250,718 人	—	—	後退
	子ども動物園 利用者数	—	544,605 人 ※14	↗	600,000 人	597,242 人	99.5% A	95.0%	順調
環境教育プログラム利用校 (園) の割合	74.4%	79.5%	↗	100%	60.4%	60.4% C	0% 未満	停滞	
<b>Ⅴ-3 パートナーシップの推進</b>									
自然の電気の共同購入参加登録 世帯数 (区協力による東京都事 業) ※15	—	46 人 ※10	↗	— ※4	75 人	—	—	進展	
<b>Ⅵ-1 風水害に強いまちづくり</b>									
雨水貯留槽 (雨水タンク) 設置助 成件数	—	12 件	↗	20 件	16 件	80% B	50%	順調	
<b>Ⅵ-2 猛暑対策の推進</b>									
区内熱中症搬送者数 (熱中症の 疑い含む)	—	193 人 ※10	↘	— ※4	139 件	—	—	進展	
<b>Ⅵ-3 ヒートアイランド対策</b>									
緑被率	18.3%	19.4%	↗	21%	— ※16	— ※16	—	—	

※1：平成 29 年度実績値 (オール東京 62 市区町村共同事業「特別区の温室効果ガス排出量」より)

※2：令和元年度実績値 (オール東京 62 市区町村共同事業「特別区の温室効果ガス排出量」より)

※3：3 か年事業のため令和 5 (2023) 年度の目標値

※4：数値による指標が困難なため目標値の設定なし

※5：板橋区大規模建築物等指導要綱により建設時にあらかじめ協議が必要となる建築物。区では、階数 3 階以上で住戸数 10 戸以上の集合住宅、集合住宅以外の建築物で延べ床面積 2,000 平方メートル以上、又は敷地面積 1,000 平方メートル以上の土地に建築物(階数 3 階未満で住戸数 10 戸未満の集合住宅は除く)を建設する場合が該当する

※6：いたばし No.1 プラン実施計画の令和 7 (2025) 年度の目標値へ更新

※7：「板橋区地球温暖化対策実行計画 (事務事業編) 2025」(令和 4 年 3 月策定) の指標へ更新。現状値 (令和 3 年度) 目標値 (令和 7 年度) についてもそれぞれ「板橋区地球温暖化対策実行計画 (事務事業編) 2025」の数値へ更新

※8：「板橋区地球温暖化対策実行計画 (事務事業編) 2025」(令和 4 年 3 月策定) より指標の追加。現状値 (令和 3 年度) 目標値 (令和 7 年度) についてもそれぞれ「板橋区地球温暖化対策実行計画 (事務事業編) 2025」の数値

※9：「板橋区地球温暖化対策実行計画 (事務事業編) 2025」が令和 4 年より始まる計画のため、現状値 (令和 3 年度) と同数値

※10：令和 2 年度実績値 ※11：「板橋区一般廃棄物処理基本計画 2025」の基準年値 (平成 27 年度)

※12：「板橋区一般廃棄物処理基本計画 2025」の目標値

※13：エコポリスセンター・熱帯環境植物館・リサイクルプラザの各施設来館者数の合計

※14：本園・分園含む、平成 30 年 7 月 2 日～令和 2 年 12 月 7 日まで本園は大規模改修のため休園により平成 29 年度実績

※15：東京都事業により、各市区町村の実績は非公表

※16：緑被率は 5 年ごとの調査のため未算出 (次回は令和 6 年調査)

※17：目標値に対する実績値の達成状況。A A（達成率 100%超）、A（達成率 90%～100%）、B（達成率 70%～90%未満）、C<sup>+</sup>（達成率 70%未満でも基準年値を上回る）、C（達成率 70%未満で基準年値より悪化）、めざす方向性が下向き矢印の場合は進捗率と同値とした

※18：計画最終年度の目標達成に向けた進捗状況。基準年値と比較して実績値がこのままのペースで推移した場合に、進捗率が 100%以上になるものを「順調」、改善はしているものの 100%に届かないものを「漸進」、0%以下になるものを「停滞」とした。令和 3 年度については、5 か年計画の 1 年度目（一部を除く）であるため、進捗率が 20%以上になるものを「順調」とした。なお、基本方針Ⅰ-1「電力・ガスの使用量の削減」については、基準年値を平成 29 年度とし目標値を令和 7 年度の 8 年間で設定しているため、1 年間で 12.5%数値が改善したものを「順調」とし、今回は令和元年度の評価となるため 2 年目の 25%を上回れば「順調」とした。また、基本方針Ⅳについては、「板橋区一般廃棄物処理基本計画 2025」の計画期間が平成 30 年度から始まる 8 年間であるため、50%以上となるものを「順調」とした。その他、数値による指標の設定が困難で目標値設定なしの指標については、基準年値に対して実績値が 5%以上増加（「めざす方向性」が下向き矢印の場合は減少）したものを「進展」、5%以上減少（同増加）したものを「後退」、増減が 5%未満のものを「横ばい」とした。

### 3 基本方針ごと進捗状況概要

#### 基本方針Ⅰ：クリーンなエネルギーを賢く使おう

##### ■ 進捗状況

- 電力・ガスの使用量の削減及び街灯・公園灯の LED 化数（率）についてそれぞれ「順調」に推移した。大規模建築物の建設時における省エネ給湯設備・断熱窓導入率及び太陽光発電設備等導入率については、省エネ給湯設備は「停滞」となったが、断熱窓・太陽光発電設備等導入率は「順調」に推移した。

##### □ 令和 3 年度の主な成果

- 街灯は 1,503 基、公園灯は 284 基を LED 化の更新を行い、計画どおりに進捗している。
- 大規模建築物の建設時における断熱窓導入率については、目標値を上回る結果となった。
- 令和 3 年度から実施した「いたばし環境アクションポイント事業」について、参加者数は家庭部門・事業所部門共に 3 割弱程度であったが、CO<sub>2</sub>削減量は 109 (t-CO<sub>2</sub>) で目標の 31.1%を占め、CO<sub>2</sub>削減量は順調に推移している。

##### ◇ 進捗度が「停滞」の項目の要因・今後の方向性等

- 大規模建築物の建設時における省エネ給湯設備について、予算の都合上見送る事業所が多くみられ停滞となった。国や都の助成制度を活用しつつ普及啓発を推進していく。

#### 基本方針Ⅱ：地球にやさしいスマートインフラを整備しよう

##### ■ 進捗状況

- 緑のカーテンに関する情報共有回数は現状値を上回り「進展」となった。生産緑地地区の指定面積及び区役所で使用している自動車の低公害率は基準年値（または現状値）からほぼ変化がなく「横ばい」となった。

##### □ 令和 3 年度の主な成果

- 緑のカーテンに関する情報共有回数について、緑のカーテンの育成状況の発信・緑のカーテンで育成したヘチマの活用動画配信・緑のカーテンに関するクイズの発信等、受け手に飽きが来ないように工夫をしながら 51 件発信を行った。

##### ◇ 進捗度が「横ばい」の項目の要因・今後の方向性等

- 区役所で使用している自動車の低公害車率について、導入困難な車両を除いてはほぼ導入済みで、近年はほぼ横ばいとなっている。車両切り替えの際に可能な限り低公害車に切り替えが行われるよう、予算編成時期に全庁的に周知をしていく。また、令和 4 年 3 月に策定した「板橋区地球温暖化対策実行計画（事務事業編）2025」の施策である、本庁舎の庁有車への電気自動車の導入及び台数拡大についても計画的に導入を図る。
- 生産緑地地区の指定面積はほぼ横ばいで、目標どおりに推移している。今後も制度の普及に努め、緑化の推進を図っていく。

#### 基本方針Ⅲ：環境と社会にも配慮したガバナンスを進めよう

##### ■ 進捗状況

- 省エネルギー診断受診件数及び板橋製品技術大賞応募数は共に「停滞」となった。

##### □ 令和 3 年度の主な成果

- 省エネルギー診断受診件数は令和 2 年度の実績を上回り数値が改善したが、基準年値よりは下回る結果となった。板橋製品技術大賞応募数においては令和 2 年度の実績を下回る結果となった。

#### ◇ 進捗度が「停滞」の項目の要因・今後の方向性等

- ・省エネルギー診断受診件数は、コロナ禍で企業の事業縮小や在宅ワークの普及など、執務環境の変化により件数が伸び悩んだ。今後は企業の脱炭素社会や ESG 経営への関心が高まっていることから、ウィズコロナ、ポストコロナ時代の省エネについて周知強化を図り、脱炭素社会を推進していく。
- ・板橋製品技術大賞応募数においても、コロナ禍で企業が足元の事業継続を優先させた結果、製品開発意欲の減退がみられた。今後は収益力改善に向けた開発支援に力を注ぎ、板橋発の環境に配慮した製品の増加を図っていく。

### 基本方針Ⅳ：3Rとエシカル消費を進めよう

#### ■ 進捗状況

- ・区民一人当たりの一日のごみ排出量及びリサイクル率は共に「漸進」となった。

#### □ 令和3年度の主な成果

- ・区民一人当たりの一日のごみ排出量は令和2年度の数値よりは減少し改善したが、引き続き新型コロナウイルス感染症の影響を受け、在宅ワーク等の普及で家庭での食品などの消費の増加により、数値が伸び悩んだ。リサイクル率においても、ごみ排出量の減少に比例して資源化量も減少していることから、数値が伸び悩んだ。

#### ◇ 進捗度が「漸進」の項目の要因・今後の方向性等

- ・区民一人当たりの一日のごみ排出量は新型コロナウイルス感染症の影響で一時的に増加となっている。今後はコロナ禍を契機として在宅勤務や新生活様式が定着していく中で、生ごみ減量・資源化の促進として、食品ロス削減事業の拡大、プラスチックごみのリサイクル拡大、分別の周知徹底等により、ごみ排出量の減少、リサイクル率の向上を図っていく。

### 基本方針Ⅴ：地球環境を考え行動する人づくりを進めよう

#### ■ 進捗状況

- ・こども動物園利用者数は「順調」に推移したが、環境学習施設の来館者数は基準年値を下回り「後退」となった。環境教育プログラム利用校（園）の割合は昨年度に引き続き「停滞」となった。自然の電気の共同購入参加登録世帯数（区協力による東京都事業）は現状値を上回り「進展」となった。

#### □ 令和3年度の主な成果

- ・こども動物園利用者数は新型コロナウイルス感染症の影響で約1ヶ月休園したが、月平均では目標値を上回る結果となった。

#### ◇ 進捗度が「停滞」又は「後退」の項目の要因・今後の方向性等

- ・環境学習施設の来館者数は新型コロナウイルス感染症の影響で、施設の臨時休館や複数の講座等が中止となったが、感染対策を踏まえた施設の運営体制が整い、入館者数は基準年値よりは下回ったものの、新型コロナウイルス感染症の影響を大いに受けた令和2年度より増加となった。今後は、ホームページや SNS 等を活用した情報発信やリモートでの講座開催などを拡充していくことにより、コロナ禍においても環境教育の推進を図っていく。
- ・環境教育プログラム利用校（園）の割合は令和2年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症を理由に出前授業を制限した学校（園）が多かったため、プログラム活用率も低下した。今後は出前形式によらず、独自で実施できるプログラムも多くあることから、積極的な活用を呼び掛けていく。

### 基本方針Ⅵ：気候危機に今から備えよう

#### ■ 進捗状況

- ・雨水貯留槽（雨水タンク）設置助成件数は「順調」に推移した。区内熱中症搬送者数（熱中症の疑い含む）についても現状値を下回り「進展」となった。

#### □ 令和3年度の主な成果

- ・雨水貯留槽（雨水タンク）設置助成件数は16件となり基準年値を上回った。今後もホームページへのPR、具体的な複数メーカーの紹介、動画のリニューアル等を実施し、周知強化を図っていく。